

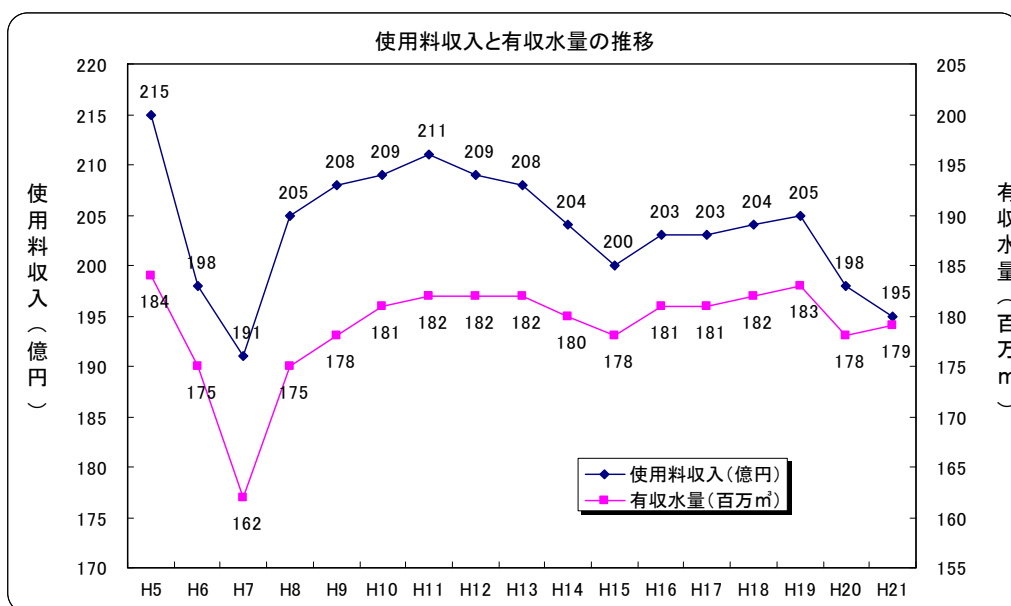
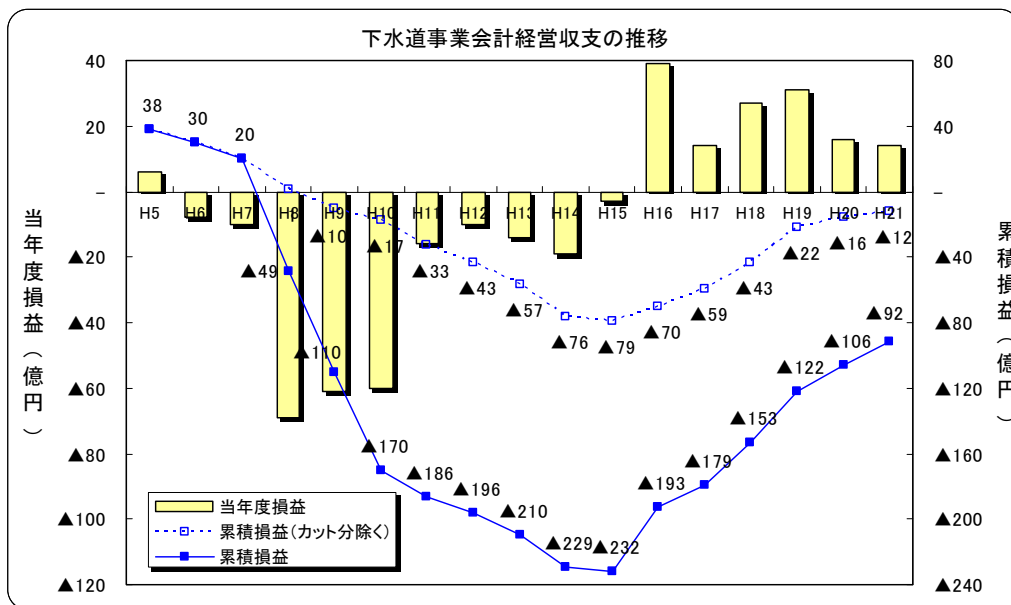
経営目標の達成に向けて

1 現状

震災の影響により、平成6年度から10年連続で赤字決算となりました。また、震災直後の3年間には、緊急避難的に一般会計からの補助金が153億円カットされました。しかし、経費削減などの経営努力により、平成16年度決算からは黒字に転換しました。

その後、平成21年度決算まで黒字を維持してきましたが、景気の低迷や節水意識の高まり、ライフスタイルの変化などにより、平成20年度決算から使用料収入が減少に転じるなど、経営環境は厳しさを増しています。

また、震災の影響により発生した累積欠損金は減少してきているものの、平成21年度末で92億円と依然多額であり、非常に厳しい経営状況となっています。



2 経営目標

「単年度収支の均衡を図り、健全で安定した経営を行います」

使用料収入が減少傾向にある中、将来的に人口減少が見込まれることや、「下水道ネットワークシステム」や垂水処理場（東系）の供用開始などにより資本費などの増大が見込まれることなど、下水道事業を取り巻く経営環境は、ますます厳しくなると考えられます。

そういった中、市民の安全・安心を守るため、より一層の執行体制の効率化や維持管理費の削減、投資の抑制に努めることで、単年度収支の均衡を図り、健全で安定した経営を行います。

3 中期財政収支計画

(単位：億円)

	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
収益的収入	228	227	232	231	231	231
下水道使用料	197	195	195	195	195	195
一般会計補助金	24	25	24	23	23	23
その他(特別利益含む)	7	7	13	13	13	13
収益的支出	228	250	236	232	231	231
人件費	27	27	27	27	27	27
物件費	73	72	71	70	69	69
資本費	128	151	138	135	135	135
当年度損益	(2)	(▲ 6)	(0)			
	0	▲ 23	▲ 4	▲ 1	0	0
累積損益	▲ 92	▲ 115	▲ 119	▲ 120	▲ 120	▲ 120

※ 当年度損益の欄の（ ）内は中部処理場（23年度に約17億円）と東部スラッジセンター（22年度に約2億円、24年度に約4億円）の除却損を除いた値。

・下水道使用料収入の見込み方

平成 23 年度予算をベースに人口の推移に合わせて見込んでいます（市内人口は平成 22 年度の 154 万人をピークに減少。国立社会保障・人口問題研究所による推計値を使用）。

・特別利益について

震災直後の平成 8 年度から 10 年度の 3 年間、下水道事業会計に対する一般会計からの補助金が、緊急避難的な措置として合計 153 億円カットされました。このカットされた一般会計補助金については平成 30 年までに返還を受ける見込みです（平成 21 年度末の残高は 80 億円）。

下水道施設位置図

ポンプ場については「こうべアクアプラン2015」関係施設を掲載





神戸市建設局下水道河川部

〒650-8570

神戸市中央区加納町6丁目5番1号

TEL : 078-322-5440

e-mail : gesui_kasen@office.city.kobe.lg.jp

URL : <http://www.city.kobe.lg.jp/life/town/waterworks/sewage/index.html>